



おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム

well-blooming project in おおさか
花き流通におけるプラスチック資源循環チャレンジ
～保水容器のサーキュラー・フローラルフォーム取扱啓発～

2025年9月19日
一般社団法人花の国日本協議会

花業界におけるプラスチック使用製品や容器包装の3R+Renrenewable促進事業の背景・実施概要

1. 背景

海洋プラスチックごみの流出対策やプラスチックの資源循環の推進の取り組み加速化が必要。
花業界は異業種に比べ遅れをとっているが、2024年春より業界一丸となり『**well-blooming project**』※として環境アクションを推進。業界におけるプラスチック使用製品や容器包装の3R+Renrenewable促進を目指した実証事業を、大阪府主導の委託事業として実施、他地域・産業へも波及させていきたい。

2. 実施概要

- ① 実態把握と課題のまとめ（プラスチック製資材の排出量ならびに資源化量や処分量の把握、フェノール樹脂製フローラルフォームの使用・排出・廃棄時の状況）
- ② 保水容器の回収・保管スキームの構築
- ③ 様々なプラスチック樹脂製保水容器の再資源化検証
- ④ プラスチック流通資材のリサイクルのしやすさ/品質向上のための施策の検討
- ⑤ 花業界向けガイドライン策定
- ⑥ 関係者への周知徹底・意識醸成に向けた啓発
- ⑦ フェノール樹脂製フローラルフォームの使用後の有効利用方法についての調査

現状は市場へのごみの持ち込みは禁止されているため、今後「資源」として回収する道筋をつけるために大阪府・大阪市の届出をして実施予定

花店からお客様の手に渡るプラ製品や、花店のごみの様子



消費者の手元でごみになる
使い捨てプラスチック

ラッピング資材
(OPPフィルム、不織布など)
リボン、ピック、
フローラルフォーム、
プラスチック鉢、花器、
アクリルケース など...



お客様の手元で

ごみになる
プラスチックの例



ごみの60%は「容器」と「包装」。花屋さんからお客さまに渡るラッピング資材は、「容器包装リサイクル法」の対象アイテムです!

- * ギフト商品が多いため、一度お客様の手に渡ると回収が困難
- * OPPフィルムや不織布などリサイクルに不向きなものが多い

花店ではできるだけ
Reduce・
Renewableを推進中

花業界における排出プラスチックごみの事例（花の流通段階）



市場・花店で

ごみになる
プラスチックの例



切花輸送時に使用される
保水容器※、PPバンド、
産地由来スリーブ など

今回の取り組み対象①＝プラスチック製保水容器（保水バケツ）



横箱：乾式



縦箱：湿式
(中に保水容器入り)



リユースできず
ワンウェイで廃棄



保水容器の形状・プラスチック基材の種類



PS
ポリスチレン



再生
PS



PET



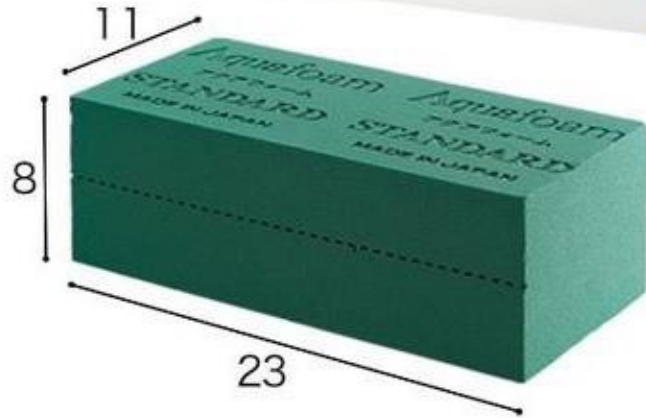
PE
ポリエチレン



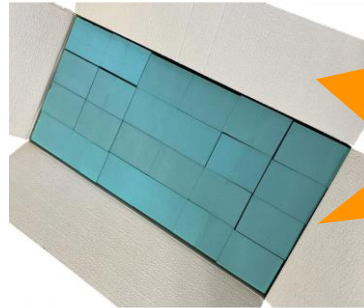
現状は基材もバラバラで
回収・リサイクルにハードル

今回の取り組み対象②＝フローラルフォーム（吸水性スポンジ） ～フェノール樹脂の粉末（マイクロプラスチック）流出が喫緊の課題→ガイドライン策定へ

国内で唯一の
生産工場をもつ
松村工業（株）
＝大阪が本社



箱から出す時
カットする時
水に浸ける時
使用后潰す時
あらゆる場面で…



このような状態で梱包されています

花店のバックヤードで
使用後のフローラルフォームを潰し
廃棄前に乾かしている様子



吸水力

1ブリックあたり、
1950gの水を

約**60秒**で吸水

※水温約 20℃の場合

保水力

均一なセル構造が
水をしっかりキャッチ

排水量**1%**以下

※垂直放置1時間後の場合

保持力

あらゆる角度から
挿した花を

しっかり
ホールド



+花持ち

天然由来成分配合で
花持ちが

1.5～2倍アップ

※当社従来品比

＊花店のアレンジ商品（母の日など）

＊冠婚葬祭の装花

＊開店祝いなど大型のアレンジに使用

再利用できず廃棄、現状リサイクルもされていない
リサイクルの手段と代替え素材の検討を開始

回収・再資源化試験計画

事業主体/協力依頼：花の国日本協議会

@八木熊（大阪営業所@吹田市/再資源化工場@福井県）
/コーディネート・技術監修/知見提供&出口検討（関根）

呼びかけ・回収

選別・保管

運搬

減容試験

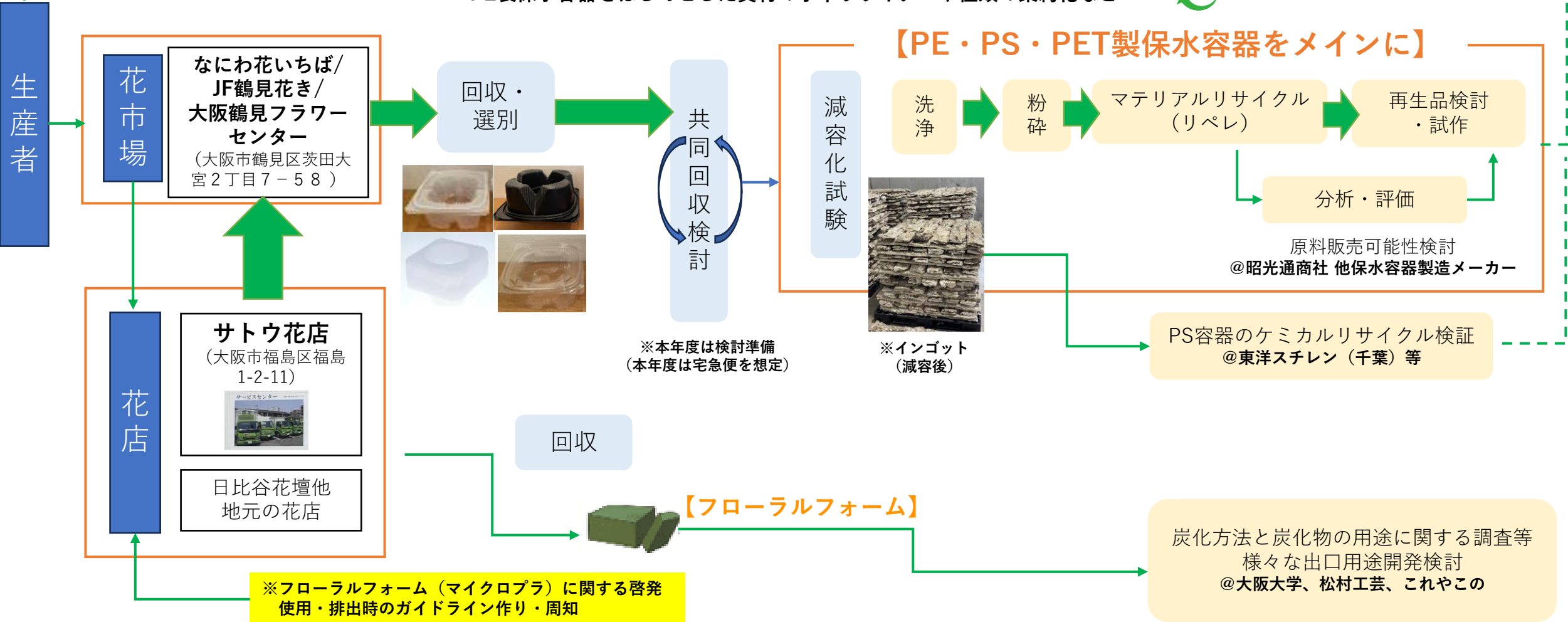
洗浄・粉砕

再資源化

再生・成形

販売

PE製保水容器をはじめとした資材の水平リサイクルや種類の集約化など



well-blooming project

2025.10/10 fri. - 10/19 sun.

well-blooming 10 days challenge

減らそう
使い捨て
ラッピング

当店は、花をラッピングする際、プラスチック製フィルムなどの削減に積極的に取り組んでいます。

プレゼントが当たるアンケート実施中!

この「環境アクション」にご参加くださるお客様はぜひ、おののけカードより簡単なアンケートにお答えください。環境への意識を高め、花の消費を減らす（削減）を目標とします。

国産花き需要拡大推進協議会 | 一般社団法人花の国日本協議会 | デコ活 | 国産花き需要拡大推進協議会 | 一般社団法人花の国日本協議会

花店にてReduce Renewable を推進中

●R7大阪府事業 フローラルフォームの 取り扱い方・捨て方

●R7大阪府事業 保水容器（ワンウェイ）の 再資源化・水平リサイクル実証実験

01 環境のこと Sustainable

環境への対策についてそろそろ何かしなくちゃとは思いつ、何をどこから始めたらよい…？とモヤモヤしている花屋さんもきっと多いはず。環境対策は常にアップデートされていて理解が追いつかず、さらには環境＝コスト増な印象ですが、少しずつできることから取り組みれば大丈夫。well-blooming project からの提案として、まずはじめに取り組みたいのは「お客様の手元でごみになってしまうプラスチック」について。プラスチックは便利だし決して悪者ではないのだけれど、環境問題の視点に立つと、極力量を減らして、使い捨てではなくリユース・リサイクルしたい素材。ラッピング資材など身近なプラスチック製品を見直してみましょう。①～⑤をご参考に、できそうなことから始めてみて!

1 プラスチック製 ラッピング資材・容器を 減らそう・なくそう・見直そう

- ラッピングのセロハンをできる限り減らす。
- ホームユースには、紙や自然素材に対応する。
- アレンジや鉢物の花器やリボンのブラ製を減らし、自然由来のアイテムに切り替えていく。
- バイオマス素材や再生プラスチック素材のものを積極的に使用する。



2 プラスチック製の資材や ラッピングペーパーなど紙類の 分別や処分方法を お客さまに伝えよう

自治体によってごみの分別方法が異なるのが悩ましいのですが…、いま一度、自店や商圏の自治体のホームページや問合せ窓口にごみの分別方法を確認してみるのもよいかも! 捨て方がよくわからないとされる「フローラルフォーム」のご家庭での分別や処分方法について、丁寧に説明するところから始めてもよいでしょう!



プラスチックに関する新法制定をきっかけに各自治体も環境への取り組みが急速に進んでいます。

「フローラルフォーム」の多くは現状、フェノール樹脂というリサイクル手段がないプラスチックでできていて、意識の高いイギリスやフランスなど欧州ではほとんど使用しない国も。フェノール樹脂に変わる新素材や新しい発想が求められています。

- (ラッピングの) あるなし選べるといい。(女性 40～44歳)
- ごみにならないような工夫があればもっと良いかなというも感じます。(男性 40～44歳)
- 再利用できるものが良いと思う。(女性 20～24歳)
- 受け取る側がゴミの処分に困らない、簡素な包装が良いと思う。(女性 35～39歳)
- 地球環境に配慮してリサイクルできる物が増えてくるともっと気軽に利用できるようになると思う。(男性 40～44歳)

まずはやっ てみよう! 花屋さんの環 境アクション

ひとつひとつの花束から変えていく

well-blooming な未来へ

3 環境にやさしい選択や行動を してくださったお客さまに インセンティブを

- 「Myバック」をご持参くださったお客さまや、ギフトでも「セロハンなしでOK」など簡易ラッピングを選んでくださったお客さまに、お店からエコポイントを付与する。
- エコポイントの他に、環境保全活動をしている団体へ寄付をするなど、お客さまにも環境アクションにご参加いただく。
- 自宅用の花購入時には「Myペーパー」を持参していただくのもよいかも!



4 環境に配慮して 生産されている花や 地元産の花を販売しよう

プラスチックの使用削減が日頃からできている花屋さんは、販売する「花」に注目してみても! 環境に配慮して生産されている「MPS認証の花」や、輸送距離が短くCO₂排出量の削減につながる地元産の花で「地産地消」を意識してみましょう。



環境に配慮して生産している 「MPS認証の花」をご存知ですか?

「MPS」とは、人にも環境にも配慮した花き認証システムです。危険な農薬を使用せず、環境負荷の低減に取り組んでいることを、国際認証機関「MPS」より証明された生産者が作った花のことです。



「MPS認証の花」生産者情報は「最新の認証資格リスト」をご参照ください▶



Next Step 5 地域の花店・花市場と協力して プラスチック資材の回収や リサイクル活動に参加しよう!

ワンウェイのプラスチックが次々と禁止されていく状況下、これから少しずつ、地域の花市場を拠点に、リサイクルのためのダルマや鉢トレーなどプラスチック資材のリサイクルの実証回収実験が始まります。もし身近でそのような取り組みがあったらぜひ参加してみてください! 皆で力をあわせて、資源を美しく循環させる花業界を目指しましょう。





- 2023年4月～ 本格準備スタート
- 2024年4月 キックオフニュースリリース、啓発冊子発刊
- 2024年5月～ 参加企業エントリースタート
- 2024年6月～ 「環境月間」より各社にて具体的な環境アクション開始
- 2024年10月 全国花店にて「減らそう使い捨てラッピング」キャンペーン
- 2025年6月 「花エコ資材カタログvol.2」「well-blooming マガジン」発刊
- 2025年10月 全国花店にて「減らそう使い捨てラッピング」キャンペーン

9月現在、全国の約400花店含む117企業・団体が参画中！
（うち、大阪本社の企業は8企業 ※今後増える予定）

◆おおさかプラスチックチーム対策推進プラットフォーム事業体制（声がけ中）

- * 大阪の花店（大阪の老舗花店、全国チェーンの大手花店他）
- * 大阪が本拠地の資材メーカー
- * 大阪の花市場数社、および花市場の花店組合組織
- * リサイクル業者
- * 大阪大学 宇山浩教授

※貴プラットフォームメンバーの（株）これやこの関根氏、ユニリーバ繁田氏とも連携



◆花の国日本協議会・国産花き需要拡大推進協議会とは

花き業界の有志により編成され、2010年に発足した「フラワーバレンタイン推進委員会」が、2014年10月に一般社団法人花の国日本協議会に発展。2011年にスタートした花贈りを啓発するプロモーション「フラワーバレンタイン」をはじめ、年間を通じ、花き業界および異業種との連携によって、花や緑が身近にある日本人のライフスタイルを実現させるプロモーションを実施。2015年秋より、ホームユースの消費拡大を推進する「WEEKEND FLOWER」企画を全国で本格展開。

現在は、農林水産省「令和5年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」の全国事業の一環で「国産花き需要拡大推進協議会」の事務局を担いながら、ホームユース需要拡大・定着を目指す花初心者向け「#花のABCワークショップ」や、観葉植物を枯らさないノウハウを啓蒙する「GREENS RESCUE」、ウェディングの新しいスタイルを提案する「#花とフォト」を展開。さらに、ジェンダー平等を考える「国際女性デー」や「花業界の環境アクション」「花とウェルビーイング = #ビタミンF」など、SDGs課題にも積極的に取り組み中。

なお、2024年4月よりスタートした **well-blooming project** 活動は、花の国日本協議会が事務局をつとめる「国産花き需要拡大推進協議会」にて全国展開、農林水産省令和5年度「持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進」を活用して進めています。

名称： 一般社団法人 花の国日本協議会 Flowering Japan Council
理事長： 井上 英明（株式会社パーク・コーポレーション 代表取締役）
事務局： 東京都港区南麻布1-6-30 5F



花の国日本協議会
Flowering Japan Council

well-blooming project : <https://homeuse-hana.jp/wellblooming/>

公式note【花業界だからこそ考えたい環境のこと～花の未来と環境アクション】 https://note.com/wellblooming_eco/

公式note【お花とウェルビーイングのいい関係～#ビタミンFのヒミツ】 https://note.com/wellblooming_pj/



花の国日本協議会公式サイト：	https://hananokuni.jp/
国産花き需要拡大推進協議会公式サイト：	https://homeuse-hana.jp/
フラワーバレンタイン公式サイト：	https://www.flower-valentine.com/
国際女性デー公式サイト：	https://happywoman-flower.com/
WEEKEND FLOWER公式サイト：	https://weekendflower.jp/
花初心者向けサイト『はじめて花屋』：	https://hajimetehanaya.jp/